

新しい働き方 × 新しい休み方 新潟スタイルの ススメ

休暇取得の促進には、誰もが休暇を取得しやすい環境をつくるのが大事です。また新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化に伴い、働き方、休み方のスタイルも変わってきています。さまざまな制度や仕組みを活用しながら、あなたの職場そして新潟にふさわしい「新しい働き方」「新しい休み方」を実現していきましょう。

新潟の新しい働き方

コロナ禍で注目される「新しい働き方」。柔軟で効率的に仕事ができる仕組みを整えることは、誰もがいきいきとした職場の実現につながります。あなたの職場に必要な働き方の仕組みについて、みんなで考えましょう。

テレワークやフレックスタイム制など
柔軟な働き方を

オンライン会議などの
システムを活用して時間を有効に

新潟の新しい休み方

年次有給休暇の取得率アップに向けては、労働者へ呼びかけるだけでは不十分。職場の状況にあわせてさまざまな制度を活用し、年次有給休暇の確実な取得につなげましょう。

ためらいの解消につながる！
年次有給休暇の
計画的付与制度を活用

時間単位の
年次有給休暇制度の導入
時差通勤にも
活用できる！

新潟スタイル実現の Hint ヒント

Hint 1 年次有給休暇の計画的付与制度

「年次有給休暇の計画的付与制度」とは、年次有給休暇の付与日数のうち5日を除いた残りの日数について、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度の導入によって、休暇の取得の確実性が高まり、労働者にとっては、年次有給休暇の取得をためらうことなく予定していた活動が行いやすく、事業主にとっては計画的な業務運営に役立ちます。

1 日数	付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。
2 活用方法	企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。
一斉付与方式	全従業員に対して同一の日付与 ▶▶▶ 製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与 ▶▶▶ 流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場などで活用
個人別付与方式	個人別に付与 ▶▶▶ 年次有給休暇付与計画表により各人の年次有給休暇を指定

Hint 2 時間単位の年次有給休暇制度

年次有給休暇の付与は原則1日単位ですが、労使協定を結べば、年5日の範囲内で、時間単位の取得が可能となります。労働者の様々な事情に応じた柔軟な働き方・休み方に役立ちます。

Hint 3 にぎわいが戻った日には…休暇を活用して地域の魅力再発見！

年次有給休暇を計画的に取得して、より一層充実した休日の過ごし方を考えてみませんか？自然や文化に親しんだり、旬の味覚を楽しんだり、テーマを決めて地域の魅力に触れてみましょう！また、にぎわいが戻った日には地域のイベントに参加しましょう！



年次有給休暇に関する各種ご相談はお気軽に最寄りの労働基準監督署へ

働き方・休み方改善ポータルサイト

厚生労働省では、企業・社員の方が「働き方・休み方改善指標」を活用して自己診断をしたり、企業の取組事例や働き方・休み方に関する資料などを確認することができる「働き方・休み方改善ポータルサイト」を開発しています。皆さんの働き方・休み方改革にご活用ください。

事例や診断を活用して働き方・休み方改善のヒントを見つけよう！
<https://work-holiday.mhlw.go.jp/>

働き方休み方改善ポータルサイト



【厚生労働省委託事業実施機関】(株)新潟日報事業社 〒950-8546 新潟市中央区万代3-1-1 TEL.025-383-8025

新潟 休暇

新潟市の事業場の皆様へ

年次有給休暇取得促進のススメ

令和3年度事業より



誰もが休暇を取得しやすい 職場環境づくりに取り組みましょう!

「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「若者の県外流出」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの問題に直面する中、個々の事情に応じて柔軟に働き方を選択できる環境をつくることは重要な取り組みとなっています。

年次有給休暇の取得を促進し、従業員のワーク・ライフ・バランスを実現することで、地域活動への参加の機会が広がり、地域社会を活性化することに寄与します。

また、働き方・休み方を改善することは、会社にとっては、仕事の生産性が向上するほか、職場の魅力アップになり、優秀な人材の確保につながります。

一方で、従業員の心身の健康のため、あるいはモチベーションアップのために年次有給休暇の取得が有効であることは、会社・従業員とも共通して認識を持っているものの、休暇取得が進んでいない現状があります。アンケート調査からも新潟市の年次有給休暇取得率は令和元年よりは上昇しているものの、全国と同様に政府目標には届かない状況であることがわかります。

年次有給休暇の取得は労働者の健康と生活に役立つだけでなく、会社にとっても、地域社会にとっても大きなメリットがあります。誰もがいきいきと暮らせる新潟市の実現のために、年次有給休暇の取得促進により一層取り組みましょう!

新潟市内の事業場での取組事例

サービス業

年間7日、年末年始休暇の前後や祝日と公休日の間など、従業員に受け入れられそうな日を「有給取得奨励日」に設定し、従業員に取得を呼びかけています。

建設業

社内報で、年休取得率について、当社と全国平均の比較をグラフ化してを示し、全国平均を上回るべく呼びかけています。また、年次有給休暇制度や付与日数等の情報を、図入りカラーで、分かりやすく案内しています。

運輸業

昨年度までは、紙媒体で年休の管理をしていましたが、今年度からはデジタルツールを導入し、クラウドで管理しています。スマホから申請、上長の承認は電子印鑑で行えるようになり、効率的に管理が可能となりました。

計画的な 年次有給休暇の取得により…

- 仕事の生産性向上!
- 企業イメージの向上!
- 優秀な人材の確保!

私生活の充実!
仕事へのやる気向上!
地域イベントへの参加!

年次有給休暇を しっかり取得できないと…

- ✕ 労働者のストレス増加
- ✕ 職場の雰囲気の悪化
- ✕ 残業などのコスト増加

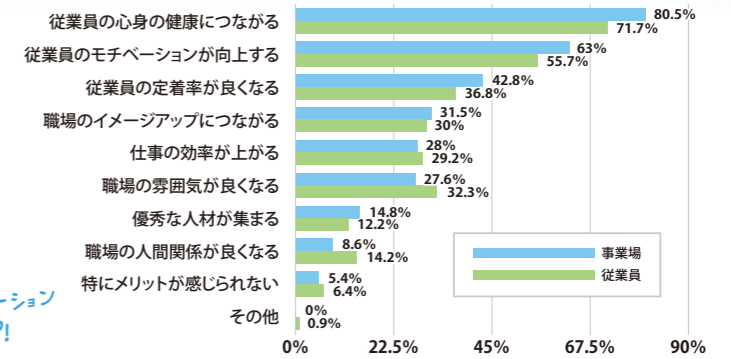
心身ともに疲労感…
仕事の能率低下…

新潟市の休暇取得に関する アンケート調査

年次有給休暇取得の現状、休暇取得促進に向けた取り組みや課題等を把握するため、市内の事業場1000社、従業員3000人を対象としたアンケート調査を実施しました。回答いただいた事業場の過去1年間の年次有給休暇取得率の平均は約57.0%(令和元年46.4%)でした。 ※全国:56.6%(令和3年就労条件総合調査)、政府目標:70%(2025年)

1 年次有給休暇取得のメリット

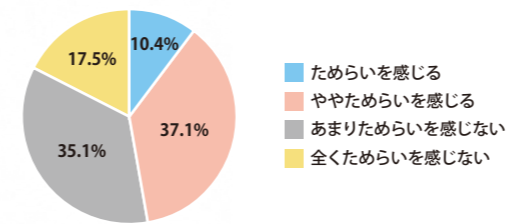
年次有給休暇取得のメリットは、企業・従業員ともこれまでと同様、「従業員の心身の健康につながる」「従業員のモチベーションが向上する」が上位となっています。



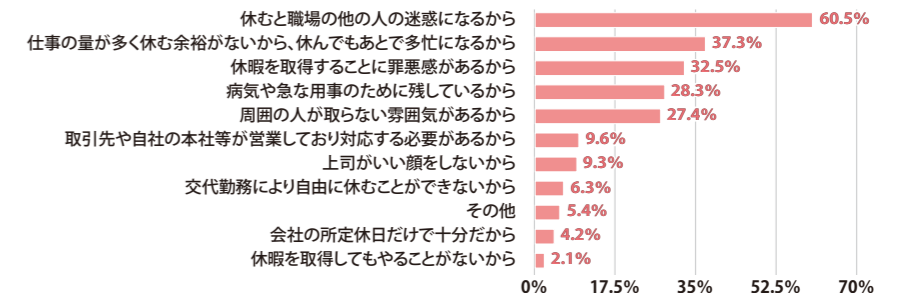
2 年次有給休暇取得をためらうのはなぜ?

半数近くの従業員が年次有給休暇の取得にためらいを感じています。その理由は「休むと職場の他の人の迷惑になるから」が圧倒的で6割を占めています。「休暇を取得することに罪悪感があるから」「周囲の人が取らない雰囲気があるから」なども上位に挙がり、同僚や上司に遠慮して取得が進まない様子が見えます。

年次有給休暇取得にためらいを感じるか



年次有給休暇取得にためらいを感じる理由



3 年次有給休暇の取得理由

日頃の休暇取得の目的で最も多かったのは「体調不良」。リフレッシュなどのために取得する人は半数以下と、まだまだ少ないようですが、中には地域のまつりやスポーツチームの応援など、新潟ならではの目的に休暇を活用しているという意見も見られました。

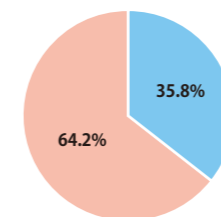


4 年次有給休暇取得促進につながる各制度の導入状況

計画的付与制度は、令和元年度と比べて導入している事業場が9%増加していますが、6割の企業では未だ導入されていません。また、半日単位の年次有給休暇制度は8割の事業場が導入している一方で、時間単位の年次有給休暇制度を導入している事業場はわずか3割にとどまっています。

計画的付与制度の導入状況

■ 導入済 ■ 未導入



時間単位・半日単位の年次有給休暇制度導入状況

■ いずれも導入 ■ 半日単位のみ導入 ■ いずれも未導入 ■ 時間単位のみ導入

